

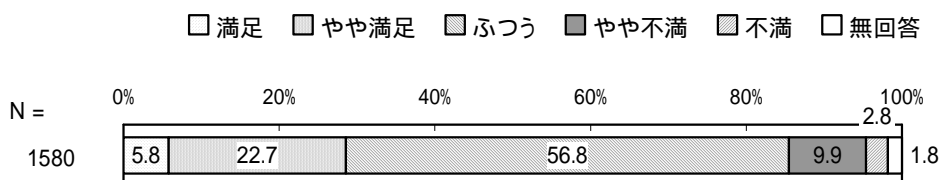
5 環境

5 - 1 川越市の環境への満足度

「ふつう」が56.8%

問30 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。(は1つ)

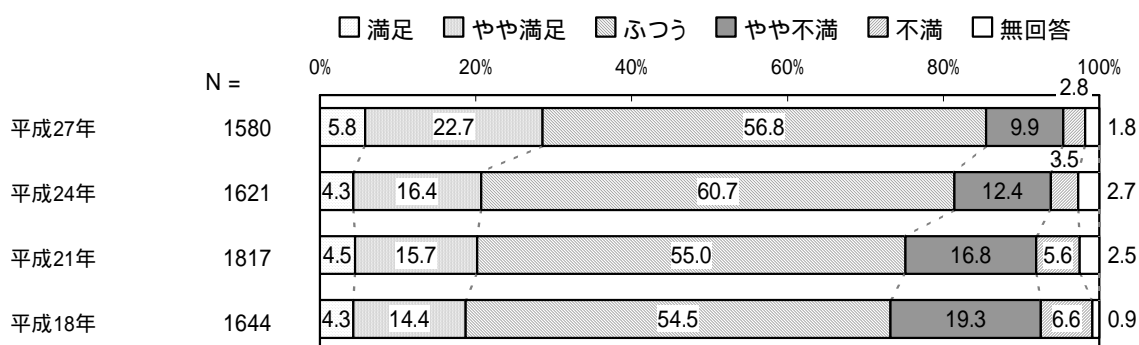
図5 - 1 - 1



川越市の環境への満足度をたずねたところ、「満足」(5.8%)と「やや満足」(22.7%)を合わせた<満足>(28.5%)が30%近く、「やや不満」(9.9%)と「不満」(2.8%)を合わせた<不満>(12.7%)が10%を超えており、<満足>が<不満>より15.8ポイント高くなっている。「ふつう」(56.8%)は50%後半となっている。(図5 - 1 - 1)

時系列でみると、<満足>の割合は前回調査と比べて7.8ポイント増加し、<不満>は前回調査と比べて3.2ポイント減少している。(図5 - 1 - 2)

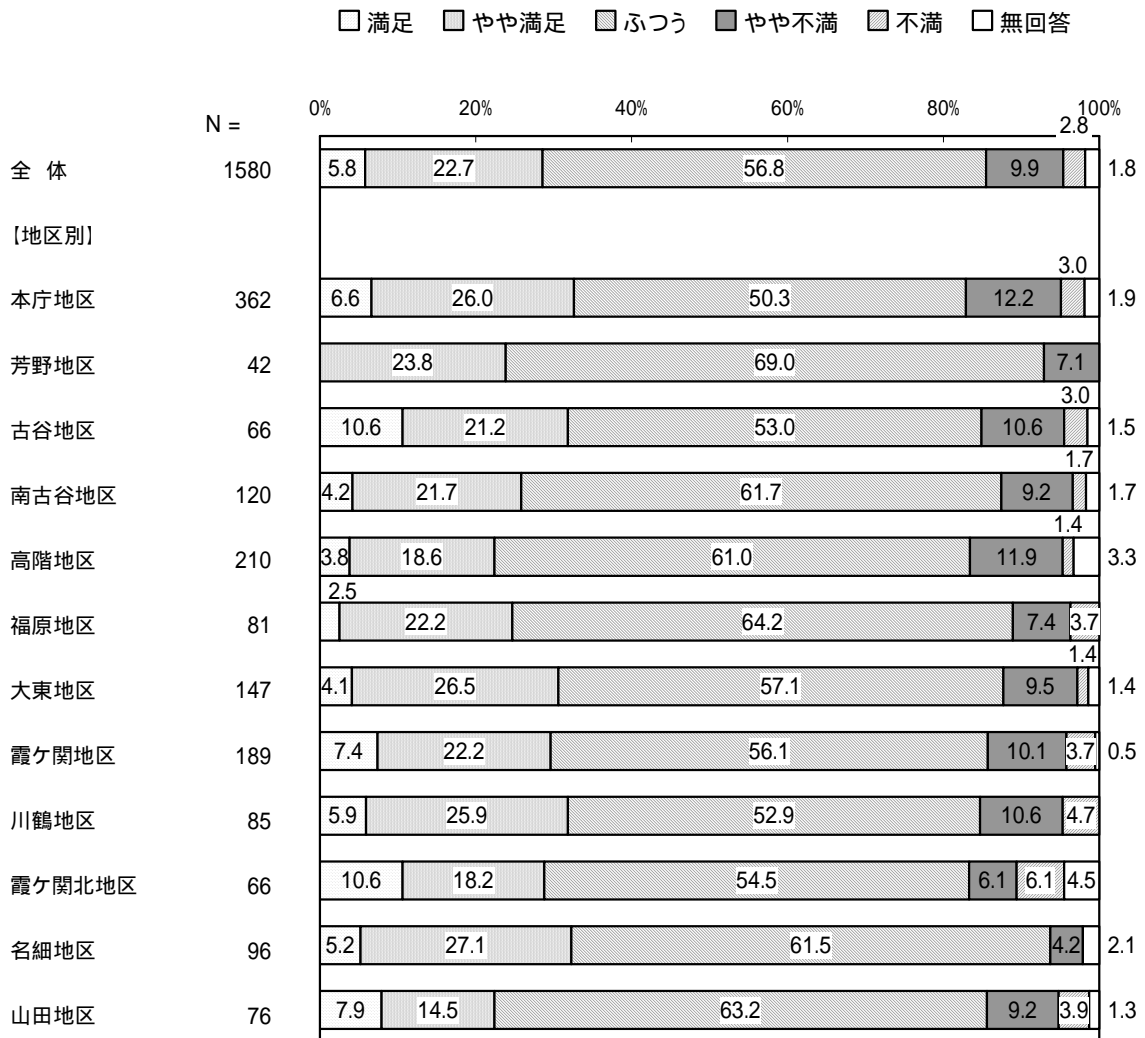
図5 - 1 - 2 時系列 川越市の環境への満足度



地区別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>は、本庁地区、名細地区、古谷地区、川鶴地区、大東地区がいずれの地区も30%を超えて多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は、本庁地区、川鶴地区が10%半ばで多くなっている。

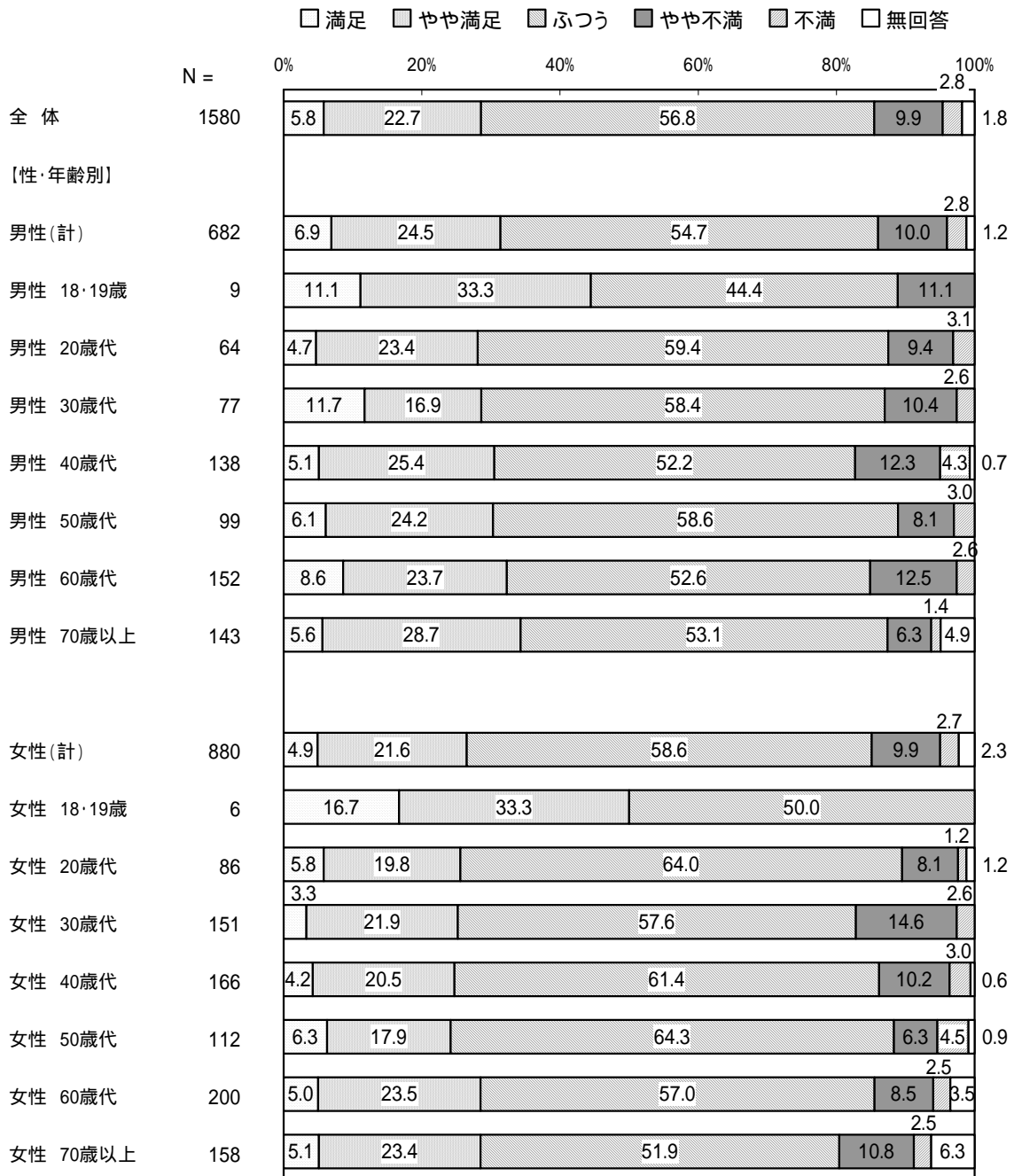
(図 5 - 1 - 3)

図 5 - 1 - 3 地区別 川越市の環境への満足度



性・年齢別に見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>は、男性（31.4%）が女性（26.5%）より4.9ポイント高くなっており、特に男性70歳以上が30%半ばで多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は、男性40歳代、60歳代と女性30歳代がいずれの年代も10%半ばとなっている。（図5-1-4）

図5-1-4 性・年齢別 川越市の環境への満足度

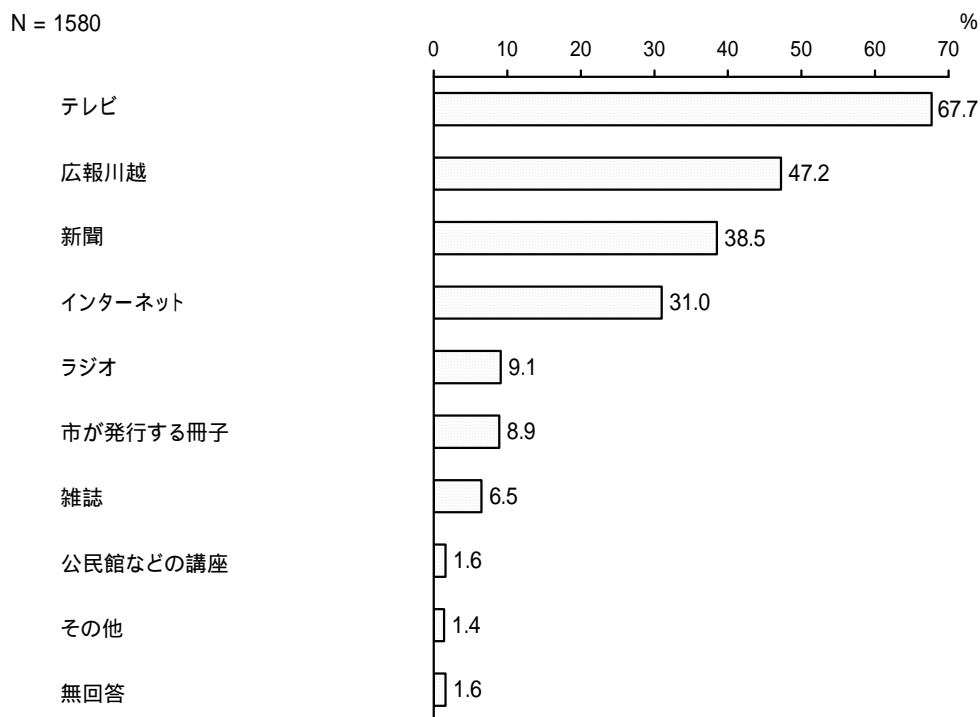


5 - 2 環境に関する情報の入手先

「テレビ」が67.7%

問31 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

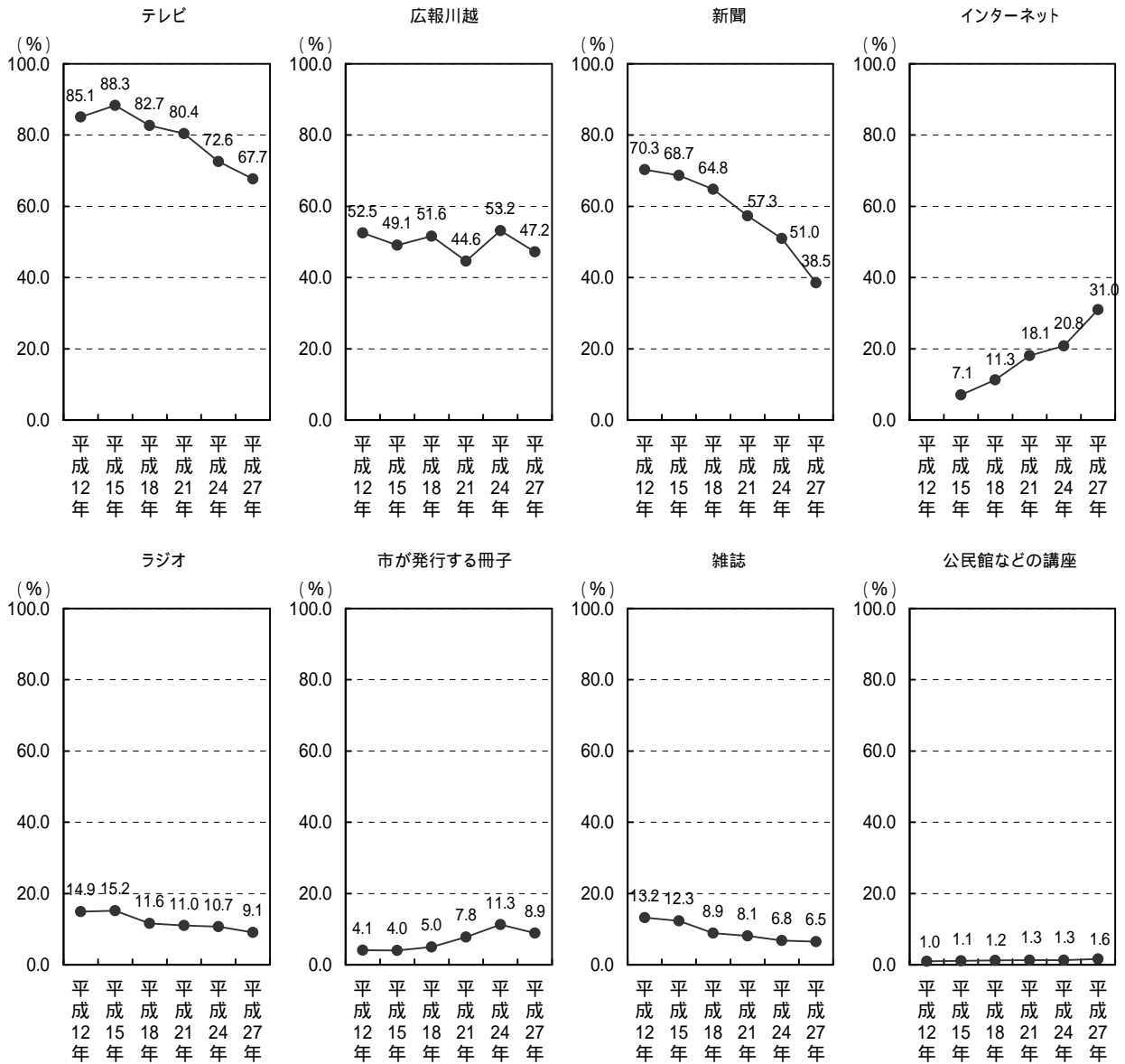
図5 - 2 - 1



環境に関する情報の入手先をたずねたところ、「テレビ」(67.7%)が最も多く、70%近くとなっている。以下、「広報川越」(47.2%)、「新聞」(38.5%)、「インターネット」(31.0%)などの順となっている。(図5 - 2 - 1)

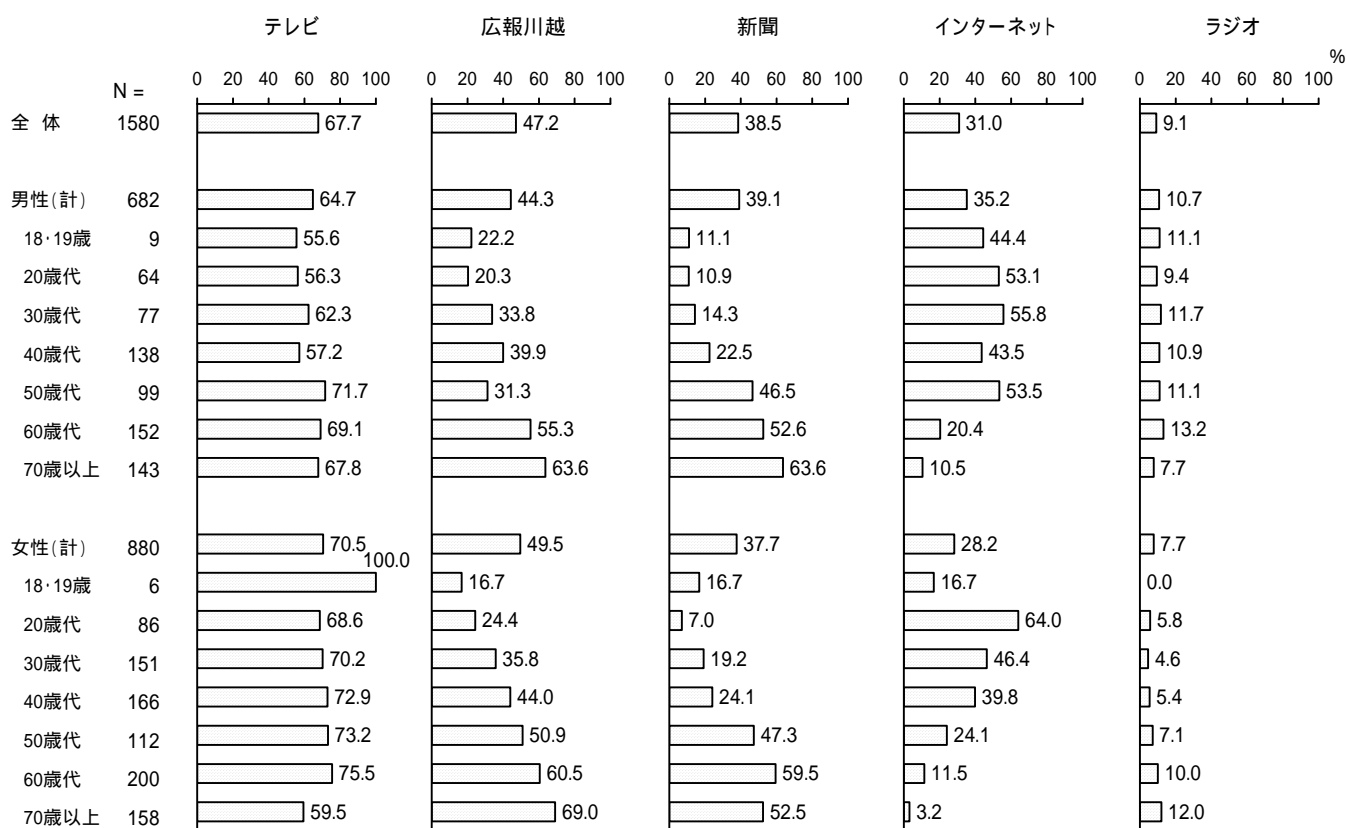
時系列でみると、前回調査と比べて「テレビ」が4.9ポイント、「新聞」が12.5ポイント、それぞれ減少している一方で、前回調査と比べて「インターネット」が10.2ポイント増加している。(図5-2-2)

図5-2-2 時系列 環境に関する情報の入手先



上位5項目を性・年齢別にみると、「広報川越」と「新聞」はともに、おおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。逆に「インターネット」は女性では低い年代ほど割合が高く、女性20歳代で60%半ばと高くなっている。(図5-2-3)

図5-2-3 性・年齢別 環境に関する情報の入手先

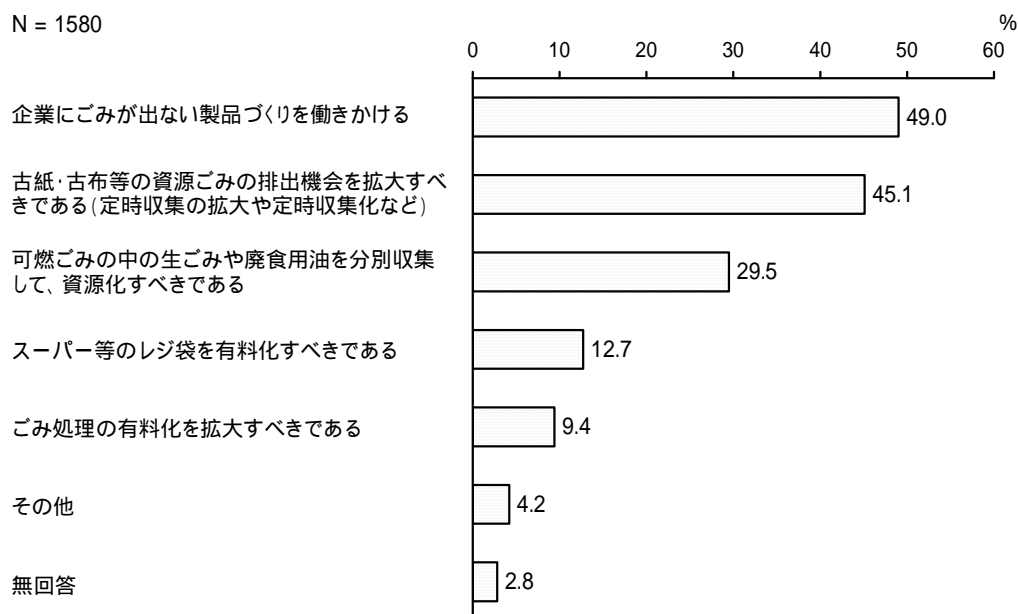


5 - 3 ごみ減量のための方策

「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」が49.0%

問 32 あなたは、ごみを減らすために、どのようにすべきだと思いますか。次の中から2つ選んでください。(は2つ以内)

図 5 - 3 - 1



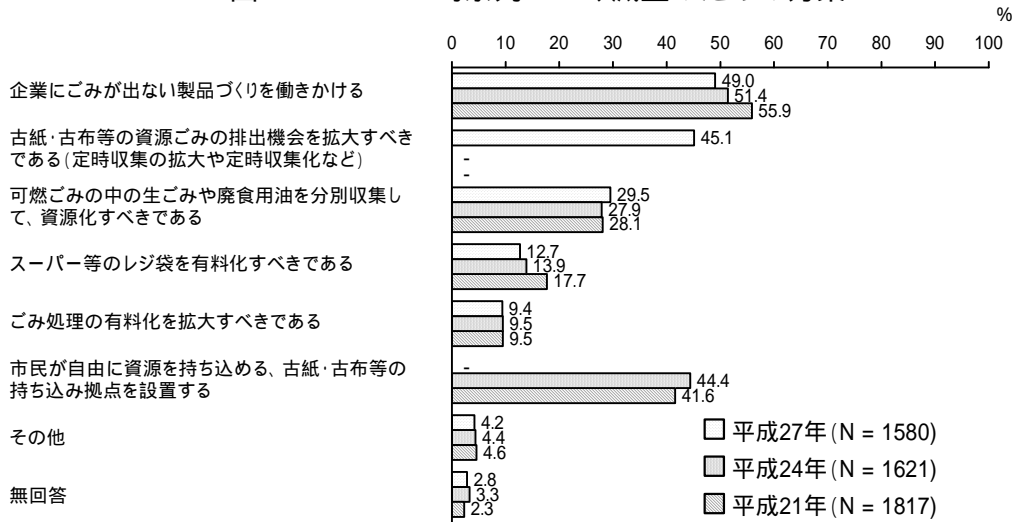
ごみ減量のための方策をたずねたところ、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」(49.0%)が最も多く、50%近くとなっている。以下、「古紙・古布等の資源ごみの排出機会を拡大すべきである(定時収集の拡大や定時収集化など)」(45.1%)、「可燃ごみの中の生ごみや廃食用油を分別収集して、資源化すべきである」(29.5%)、「スーパー等のレジ袋を有料化すべきである」(12.7%)、「ごみ処理の有料化を拡大すべきである」(9.4%)と続いている。

(図 5 - 3 - 1)

時系列でみると、平成 27 年調査で選択肢の追加・変更があったため平成 18 年調査以前との比較は参考にとどまるが、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は減少傾向がみられる。

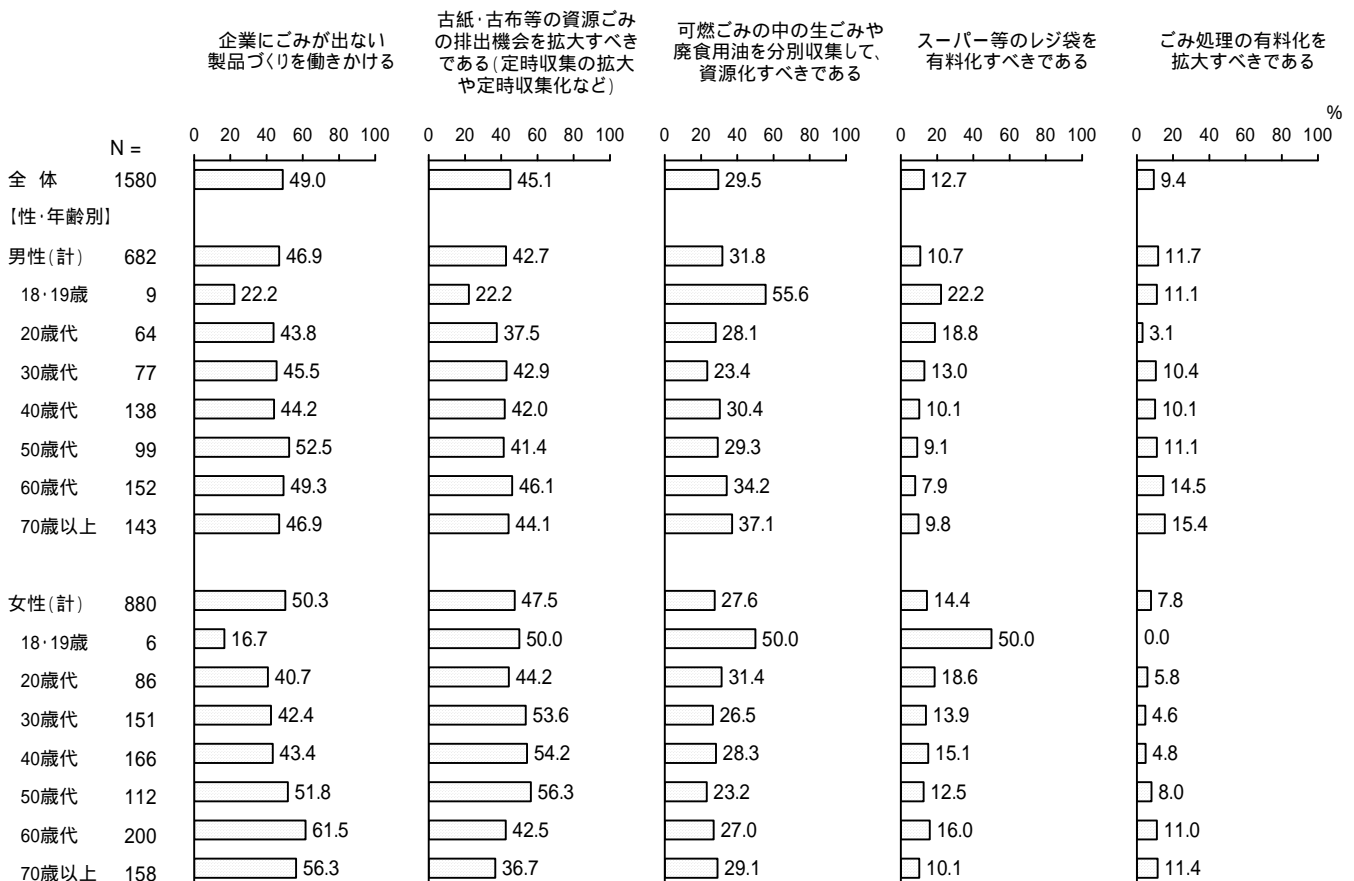
(図 5 - 3 - 2)

図 5 - 3 - 2 時系列 ごみ減量のための方策



性・年齢別にみると、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は女性 60 歳代が 60% を超えて多くなっている。(図 5 - 3 - 3)

図 5 - 3 - 3 時系列 ごみ減量のための方策

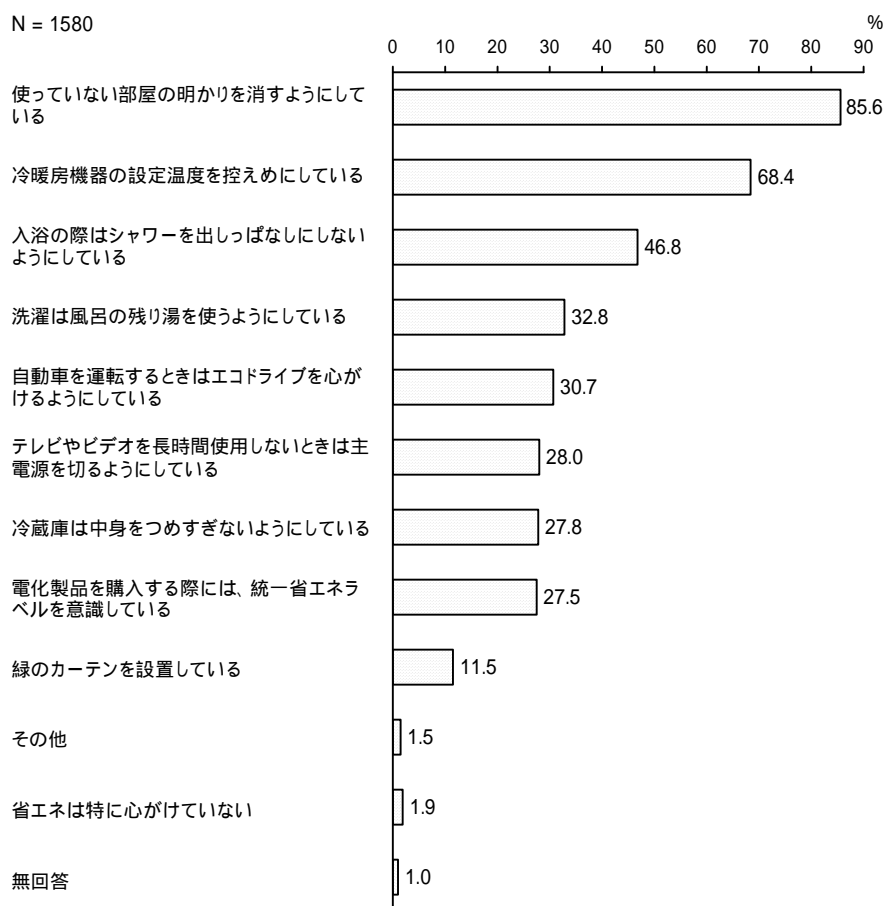


5 - 4 実行している省エネ活動

「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が 85.6%

問 33 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものをすべてで選んでください。(はいいくつでも)

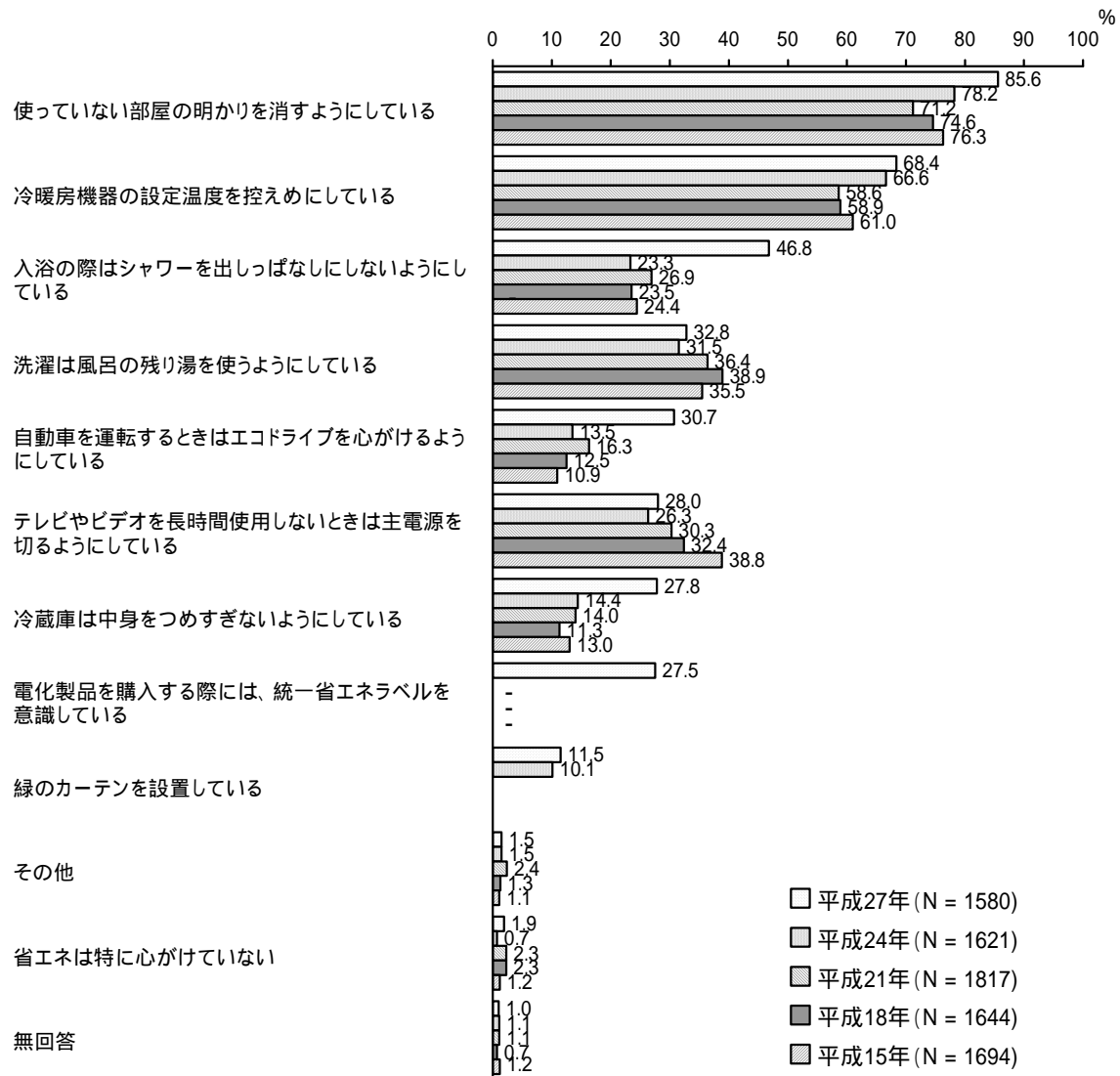
図 5 - 4 - 1



実行している省エネ活動をたずねたところ、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」(85.6%)が最も多く、80%半ばとなっている。以下、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」(68.4%)、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」(46.8%)、「洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている」(32.8%)、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」(30.7%)、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」(28.0%)などの順となっている。(図5 - 4 - 1)

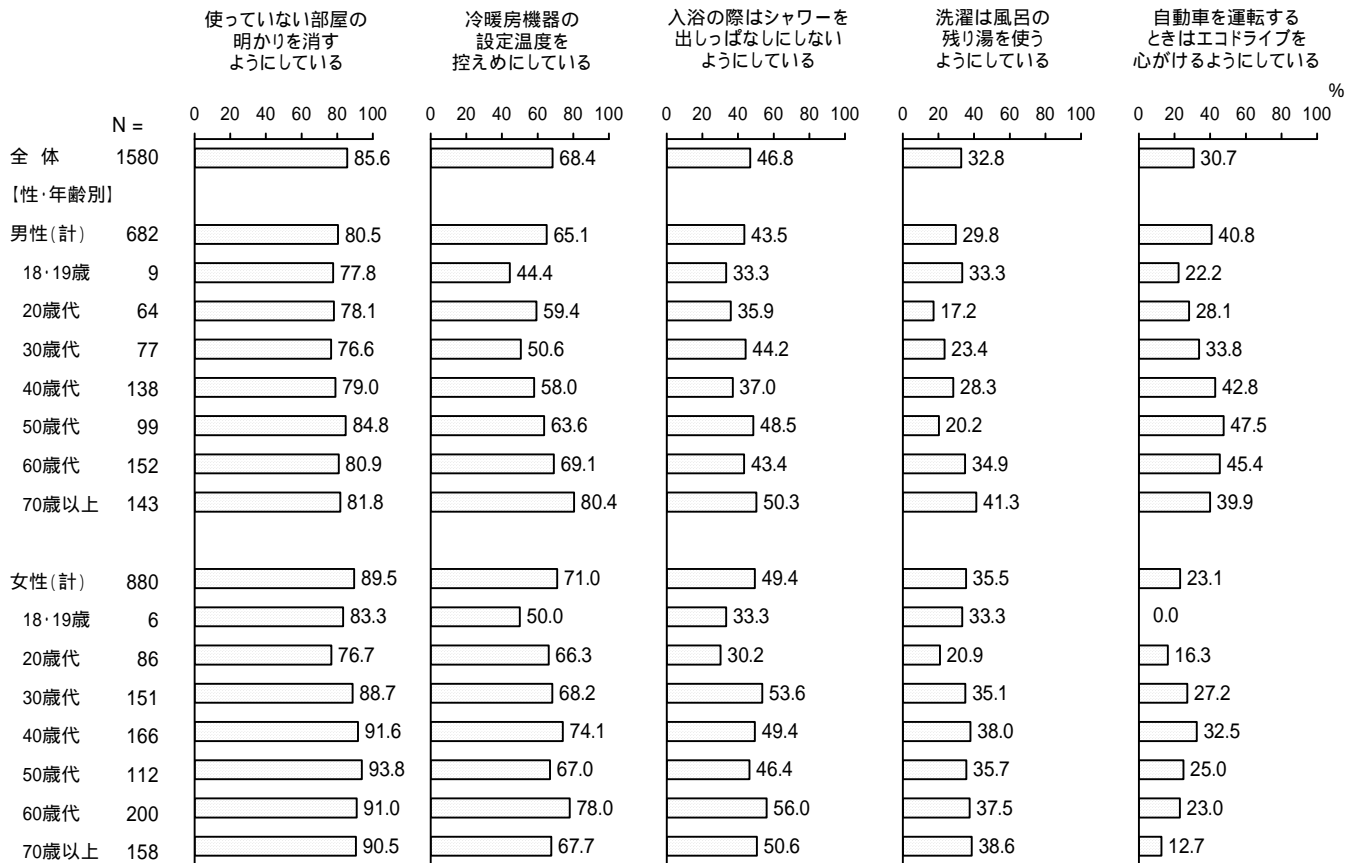
時系列でみると、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」は7.4ポイント、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」は23.5ポイント、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は17.2ポイント、「冷蔵庫は中身をつめすぎないようにしている」は13.4ポイント、それぞれ増加している。また、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」は減少傾向となっている。(図5-4-2)

図5-4-2 時系列 実行している省エネ活動



上位5項目を性・年齢別にみると、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は、男性70歳以上、女性60歳代で80%近くと多くなっている。「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は男性(40.8%)が女性(23.1%)に比べ17.7ポイント高くなっている。(図5-4-3)

図5-4-3 性・年齢別 実行している省エネ活動



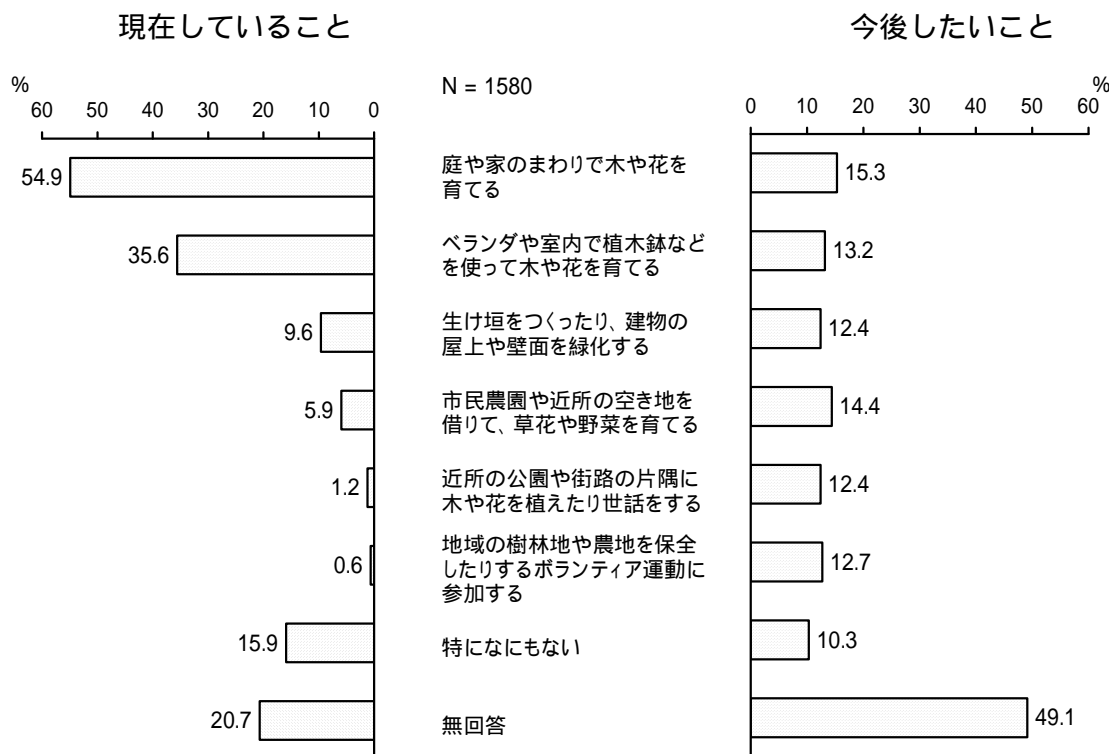
5 - 5 まちの緑化への活動内容

現在している活動は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 54.9%

今後したい活動は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 15.3%

問 34 あなたは、緑を増やすために、
 現在どのようなことをしていますか。(はいいくつでも)
 今後どのようなことをしたいですか。(はいいくつでも)

図 5 - 5 - 1



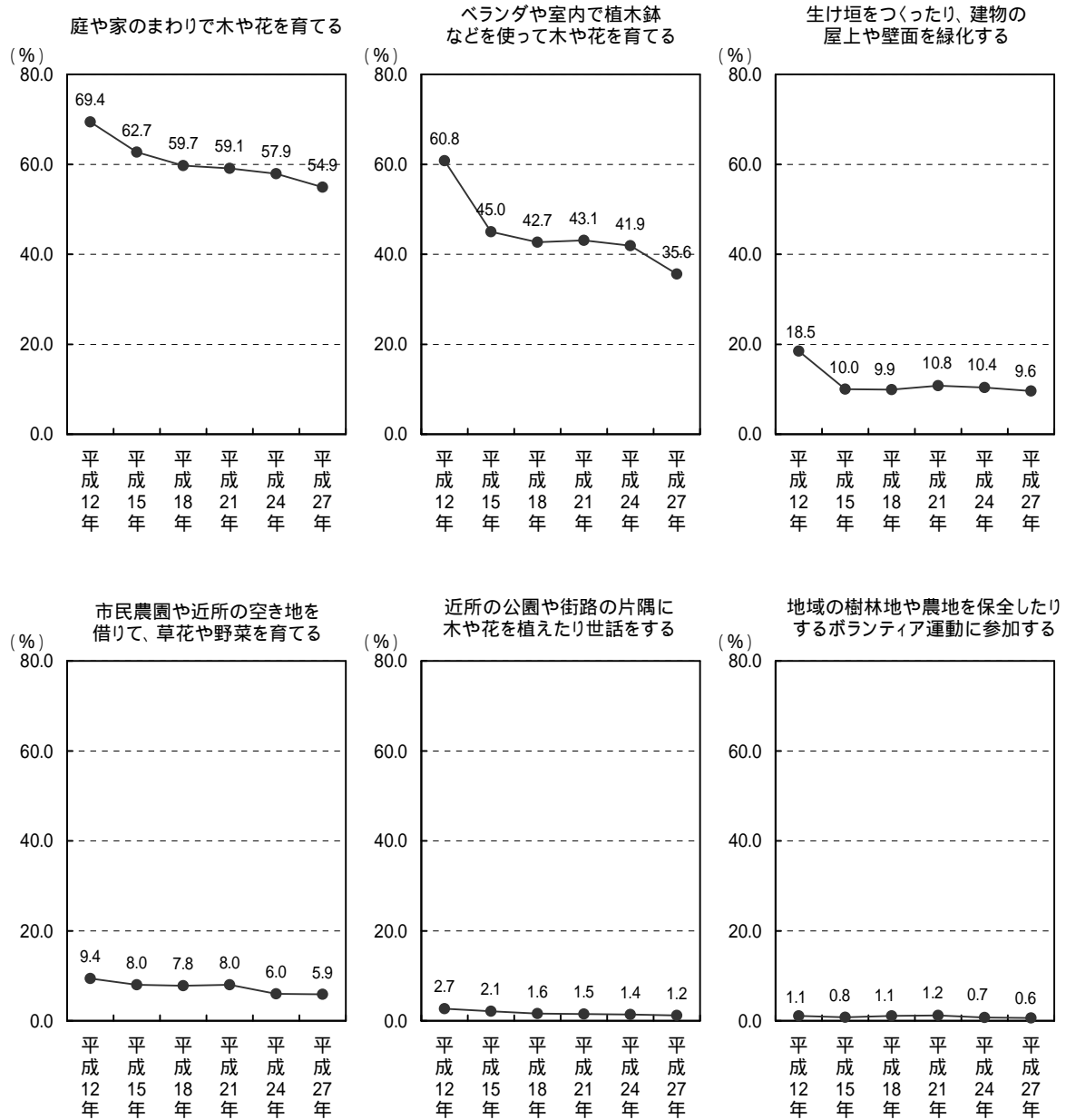
まちの緑化のために〔現在している活動〕と〔今後したい活動〕をたずねたところ、〔現在している活動〕では、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(54.9%)が最も多く、50%半ばとなっている。以下、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(35.6%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(9.6%)などの順となっている。

〔今後したい活動〕では、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(15.3%)が最も多く、10%半ばとなっている。以下、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」(14.4%)、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(13.2%)、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」(12.7%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(12.4%)、「近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする」(12.4%)などの順となっている。(図 5 - 5 - 1)

まちの緑化への活動内容

まちの緑化への活動内容について時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」で減少傾向がみられる。(図5-5-2)

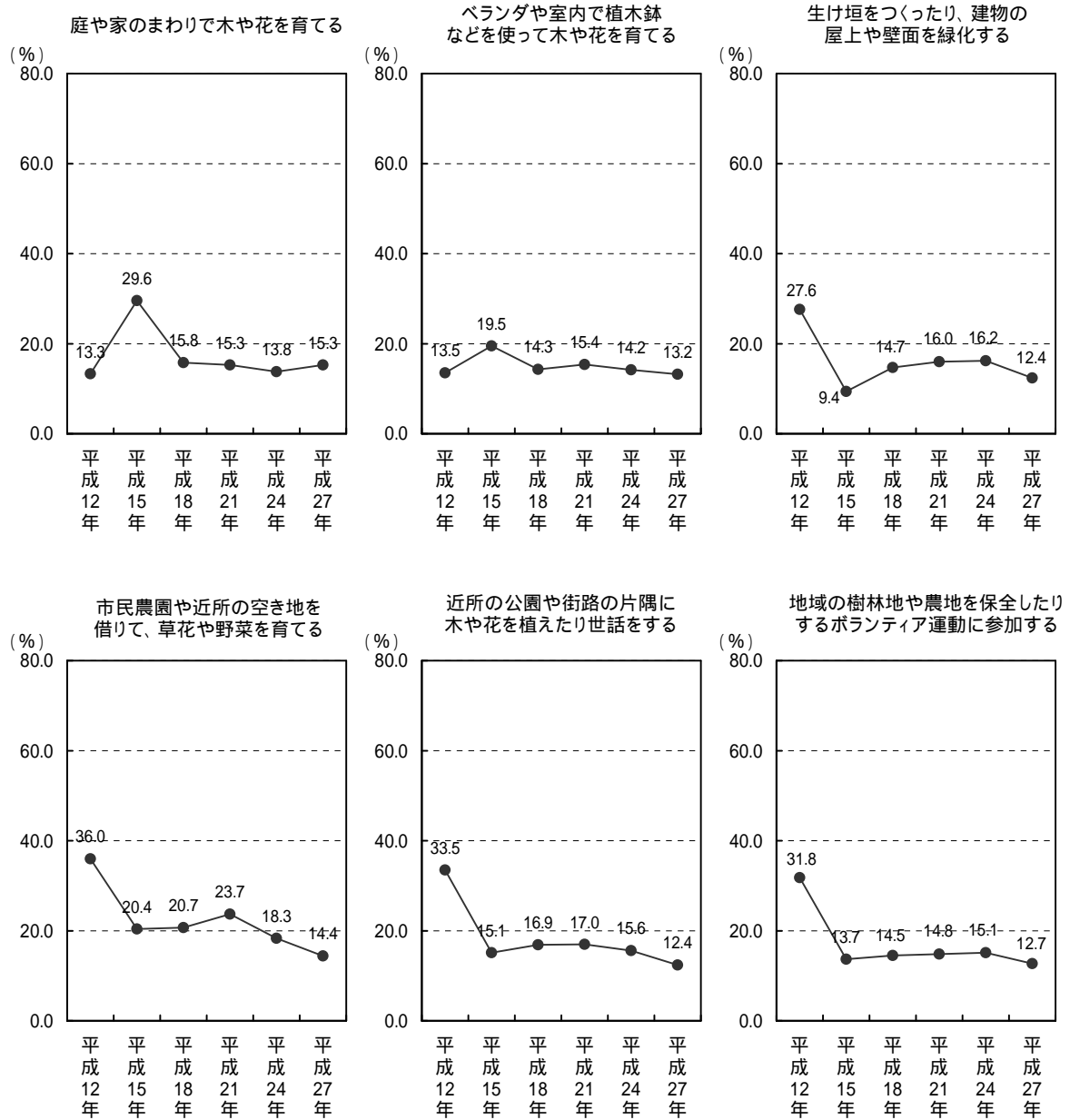
図5-5-2 時系列 まちの緑化への活動内容



まちの緑化のために今後したい活動

まちの緑化のために今後したい活動について時系列でみると、すべての項目で平成 18 年調査以降ではおおむね横ばいとなっている。(図 5 - 5 - 3)

図 5 - 5 - 3 時系列 まちの緑化のために今後したい活動

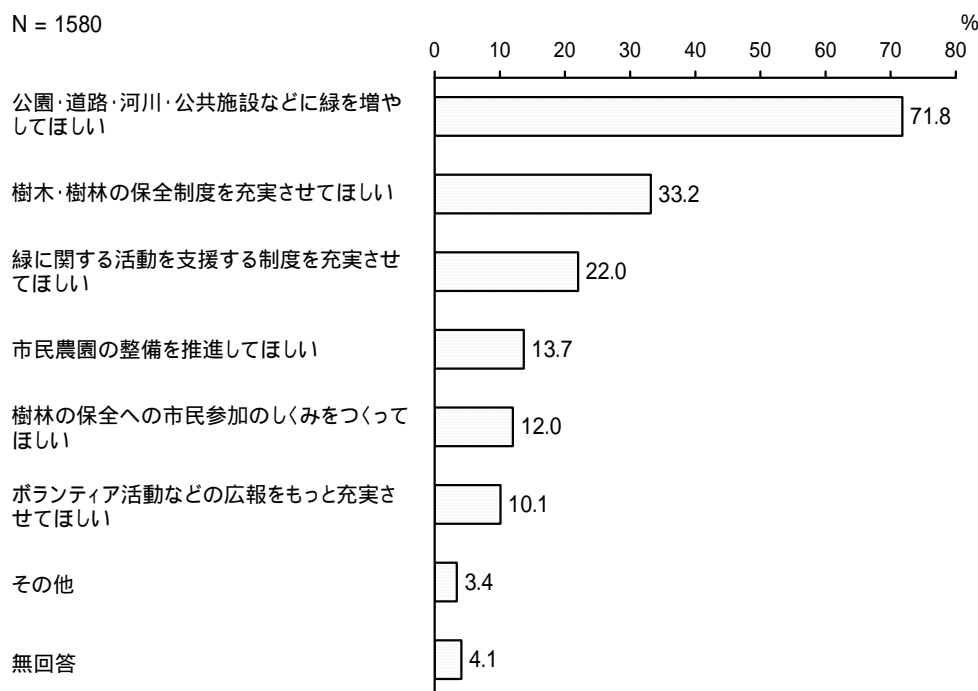


5 - 6 まちの緑化への施策

「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が71.8%

問 35 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

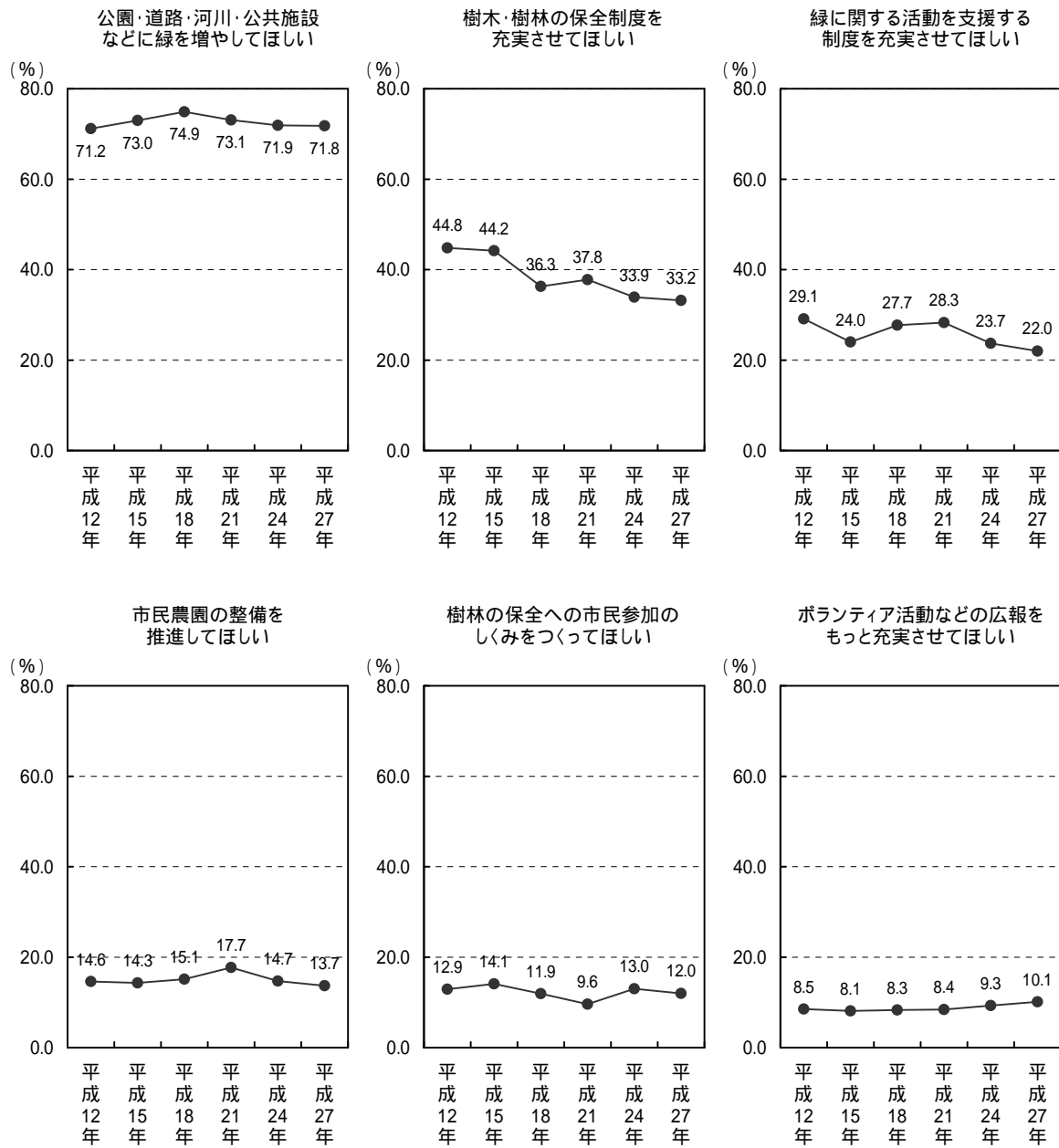
図 5 - 6 - 1



まちの緑化への施策をたずねたところ、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」(71.8%)が最も多く、70%を超えている。以下、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」(33.2%)、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」(22.0%)、「市民農園の整備を推進してほしい」(13.7%)などの順となっている。(図5 - 6 - 1)

時系列でみると、平成 18 年以降、各項目ともおおむね横ばいとなっている。(図 5 - 6 - 2)

図 5 - 6 - 2 時系列 まちの緑化への施策



上位5項目を年齢別にみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は低い年代ほど割合がやや高くなる傾向にある。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は、50歳代、60歳代で30%近くと多くなっている。

(図5 - 6 - 3)

図5 - 6 - 3 年齢別 まちの緑化への施策

